

知事メッセー

岩手県知事 達増拓也



そのような折、2019年は被災した三陸地域において、三陸鉄道リアス線全線開通や、震災復興への感謝と復興の取組

ては、自動車や半導体関連産業の集積が進み、更に世界最先端の素粒子実験施設であるILC国際リニアコライターの実現に向けて取り組みを強化してまいります。

9年前は被災した三陸地域において、三陸鉄道リアス線全線開通や、震災復興への感謝と復興の取組

地方創生の世に出る学生諸君へ

あけましておめでとうございます。

岩手県は、東日本大震災津波からの復旧・復興を最重要課題として、「誰一人として取り残さない」という理念の下、被災者一人一人に寄り添いながら、復興の取組を進めてきました。

また、内陸地域において、復興の実践で培われた一人一人の幸せを守り育てる姿勢を県政全般に広げ、県民相互に、更には、岩手県と関わりのある人々が互いに幸福を守り育てる岩手の実現を目指しています。

皆さんと共に岩手県の未来を築くことを楽しみにしています。

本年が皆さんにとって健康で幸多き年となりましますよう、心からお祈り申し上げます。

あけましておめでとうございます。

岩手県は、東日本大震災津波からの復旧・復興を最重要課題として、「誰一人として取り残さない」という理念の下、被災者一人一人に寄り添いながら、復興の取組を進めてきました。

また、内陸地域において、復興の実践で培われた一人一人の幸せを守り育てる姿勢を県政全般に広げ、県民相互に、更には、岩手県と関わりのある人々が互いに幸福を守り育てる岩手の実現を目指しています。

皆さんと共に岩手県の未来を築くことを楽しみにしています。

本年が皆さんにとって健康で幸多き年となりましますよう、心からお祈り申し上げます。

金栗四三の写真を映しながら功績を振り返ったパネルディスカッション



玉名市で社会知性フォーラム

専修大学の研究力、教員を発信する社会知性フォーラムが12月8日、熊本市玉名市で行われた。「夢を翔ける」をテーマに玉名市名譽市民で日本マラソンの父・金栗四三(1891-1983)を取り上げ、専修大学スポーツ研究所の教員ら3人が金栗の偉業を振り返るとともに、スポーツの未来について語った。

金栗は日本初のオリンピック選手として1912年のストックホルム大会に出場。以後2回の五輪出場。以後2回の五輪出場。以後2回の五輪出場。

日本初のオリンピックピック選手・マラソンの父 金栗四三の偉業振り返る

専修大学の研究力、教員を発信する社会知性フォーラムが12月8日、熊本市玉名市で行われた。「夢を翔ける」をテーマに玉名市名譽市民で日本マラソンの父・金栗四三(1891-1983)を取り上げ、専修大学スポーツ研究所の教員ら3人が金栗の偉業を振り返るとともに、スポーツの未来について語った。

金栗は日本初のオリンピック選手として1912年のストックホルム大会に出場。以後2回の五輪出場。以後2回の五輪出場。

専大玉名高12回目の金賞

マーチングバンド全国大会

専修大学玉名高等学校(熊本市玉名市、松野孝則校長)の吹奏楽部VETURESは12月16日、さいたま市のさいたまスーパーアリーナで開催された「第46回マーチングバンド全国大会」(日本マーチングバンド協会主催)高等学校の部、小編成部門(54人以上)で、12回目の金賞を受賞した。



記録。本大会では指揮者を含む50人が出場、「人類の覚醒」をテーマに躍動感あふれる演奏演技で聴衆を魅了したII写真。

の育成や将来の日本スポーツ界のことを考えていた人で、その功績は燦然と輝いていると語った。

金栗と20年近く親交があった玉名市金栗四三PR推進室の徳永慎二さん(昭44文)は「小学生の時から指導を受け、大会でいい結果が出なかった時は「次に頑張ればよかたい」と励ましてくれた。一本気な人だったと人柄を紹介。齋藤実経営学部教授は「日本スポーツのフロントライン」をテーマに、「スポーツは文化の一つ。オリンピックから子どもたちの運動会まで、頑張る姿が与える影響は大きい」とスポーツの影響について説いた。

パネルディスカッションは、スポーツ用具の進歩について語り、徳永さんは金栗が考案した「金栗足袋」と呼ばれるマラソンシューズを披露。日本にシューズを製作する技術がない時代、メーカーの開催は3回目。

就職課から

「4年次生へ」川崎市との共催で2月6日(水)に学内企業説明会inサテライトを開催します。

午前の部は10時から、午後の部は14時から開始します。46社もの企業が来校する予定です。皆さんを必要としている企業ばかりです。多くの企業の説明を聞いてみて下さい。

就職、進学など卒業後の進路が決定した皆さんは就職課に「進路届」を提出してください。

「3年次生へ」1月30日(水)、31日(木)に第2回就職ガイダンスを実施します。筆記試験対策、業界・企業研究、面接、就活マナー対策など、いよいよ本格化する就職活動を前に、注意点を集めましょう。

星の王子さまとモラル・ハラスメント

いわずと知れたサン・テグジュペリの世界的ロングセラー、『星の王子さま』。この作品の主題についてはさまざまな研究や解釈がなされ、多くの著作が刊行されています。

そのひとつに、『誰が星の王子さまを殺したのか』(安富歩著、明石書店、2014年)があります。同書はこの作品について、王子が自分の星に咲いたバラから受けたモラル・ハラスメントによって精神が混乱し、放浪先の地球で出会ったキツネの助言がセカンド・ハラスメントとなってさらに自分を責めることになり、毒蛇に自身を噛ませて自殺に至る物語である、と解釈しています。

王子は自分の星は、あなたが対策室に声を掛けることでバラを懸命に世とかがもれません。

また、専修大学北上高校(岩手県北上市、及川和夫校長)の吹奏楽部は、同

米国の大学院生ハリスさんベルンシュタイン文庫研究



貴重な資料に触れ、笑顔のハリスさん

フランス革命期を研究している米国ノースカロライナ大学チャペルヒル校の大学院生ジェフリー・ライアン・ハリスさんが12月、専修大学所蔵「ミシェル・ベルンシュタイン文庫」の資料の研究に来日。約3週間生田キャンパスに滞在した。

12月14日には図書館本館の特別書庫で「人権宣言」や「マリー・アントワネットの死刑判決書」などの貴重な資料を研究した。特に人権宣言には「色の付いた印刷物は初めて」と感嘆。「東洋にある大学に、フランス革命期の資料がこんなにたくさんあるなんて驚きだ。有名な資料のほかに、未知の貴重な資料が隠されていると思う」と語り、本学での調査に手応えを感じていた。

専大でミシェル・ベルンシュタイン文庫の研究が充実していることは、本学が主催した国際シンポジウムで講演した、指導教授のロイド・クレマー氏や本学の近江吉明文学部教授を通して知った。



対策室員・齋藤雅彦

自分が被害者なのに加害者を擁護する行為は、自分自身を苦しめることになり、深刻な事態になってしまいます。

自分自身を苦しめることになり、深刻な事態になってしまいます。